第64回 QCサークル大会 結果

６月４日（土）に天草信用金庫にて第６４回QCサークル大会が開催されました。結果は下記のとおりです。社長賞はいっぱい飲み隊サークルでした。（前回の受賞はH15年12月第39回大会で約13年ぶりの社長受賞となりました）半年間の活動・発表お疲れ様でした。もう次がスタートしています、計画をしっかり立てて活動をしましょう。

審査結果	サークル名
社長賞	いっぱい飲み隊
優秀賞	トライアングル・ひまわり
審査員特別賞	メンテナンズ・ネットワーク
審査員特別賞	ツールボックス
敢闘賞	ステップ
敢闘賞	パワーアップ
敢闘賞	パラボラン
敢闘賞	カルテット
敢闘賞	潤滑油
躍進賞	いっぱい飲み隊

パレン'78

7月の行事予定

7月1日～7月7日　第20回社内安全週間
7月2日(土)　安全朝礼
7月9日(土)　創立46周年ボランティア活動
8:30～12:00　昼食あります

ISO外部審査日程

平成28年6月29日(水)～7月1日(金)
6/29　管理責任者・設計・営業
6/30　工務部・苓北営・総務
7/1　工務部・苓北営・総務

社員会連絡

平成28年7月16日土曜日
日帰りバスツアー天草島内巡り
集合時間等の詳細は
決定次第お知らせします
注意☆7/16は休日
7/23は出勤日となります

『冷たい飲み物には要注意』

猪原　清

暑い日やスポーツで汗を流したあと、お風呂あがりなどに冷たい飲み物を一気に飲むのは気持ちのいいものです。しかしその習慣が不安愁訴を招きやすくしている事はご存知でしょうか？東洋医学では、冷たいものは体を冷やし、全身の状態を悪くするとされており出来るだけ温かいものを取ることが重要と考えられています。東洋医学の考え方から見れば日本人の食生活は体を冷やす涼性の食品の取りすぎの傾向にあります。それは食べ物だけでなく飲みもにもいえます。中国では夏でも冷たい飲み物は取らず温かいお茶を飲みます。一方、日本にはどこでも自動販売機があり、冬でも冷たい飲み物を飲むことができます。冷たい飲み物を取る習慣を続けていると、体が低体温になり免疫力や抵抗力の低下を招きます。さらに自律神経の乱れが加わり冷えや疲れ、だるさなどの不調が起こりやすくなるのです。対策としては、なるべく冷たい飲み物を飲まない事です。氷を入れたり、冷蔵庫から出してすぐに飲んだりしないで、常温にした物を飲むことをお進めします。

『水無月』

堤内　正樹

梅雨の雨の多い時期の六月をなぜ、旧暦で水無月というのか由来を調べてみた。色々、諸説あるようだが、「無」は「なし」の意味ではなく、「の」を意味する連体助詞で「水の月」とする説が有力のようだ。田植えが終わり、田んぼに水を張る必要がある月「水張月」（みずはりづき）「水月」（みなづき）であるという説もあるようだ。

そこでひとつ疑問に浮かんだ。そこに書いてあったのは十月の旧暦、神無月の「無」も同じ意味だとのことだったしか、出雲以外、神さまがいなくなるから神無月だったように思う。

それも気にはなったが、そのあとに説明してあった同じ「水無月」という京都で六月三十日に食べられる、外郎の上に小豆の粒あんを散らした三角形をした和菓子。それを食べて過ぎた半年の穢れを払い、来る半年の無病息災を願うとのこと。学生の頃、修学旅行でも行けなかった、京都に行ってみたくなった。

『選挙』

沖津　圭一

「十八歳選挙権」が導入される今回の参院選は、投票率の行方が注目されます。しかし、調査では全体的に投票率の低下が懸念される。

調査の数字を年代別にみると、「必ず行く」と答えた人は、１８から２９歳で２１％にとどまり、年齢が若いほど低かった。「関心がある」とした人は７０歳以上で８３％に上がる一方、１８から２９歳では５６％だった。

過去３回の参院選投票率（選挙区選）は０７年が５８．６％、１０年が２．６１％と低下が続いている。何十万分の１票だろうと、自分の１票が反映されると信じて私は投票に行きます。皆さんも投票には行きましょう。